

2023年2月のDATASALAD 宿泊稼働指数

～前月からの反動で上昇 正常化へ

2023年3月8日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調 DATASALAD (<https://datasalad.jp/>) では、景気、産業、社会に関する政府統計に加え、人流や求人等のビッグデータ・オルタナティブデータを、地域の景気や産業の動向を分析する指標として加工、可視化している。

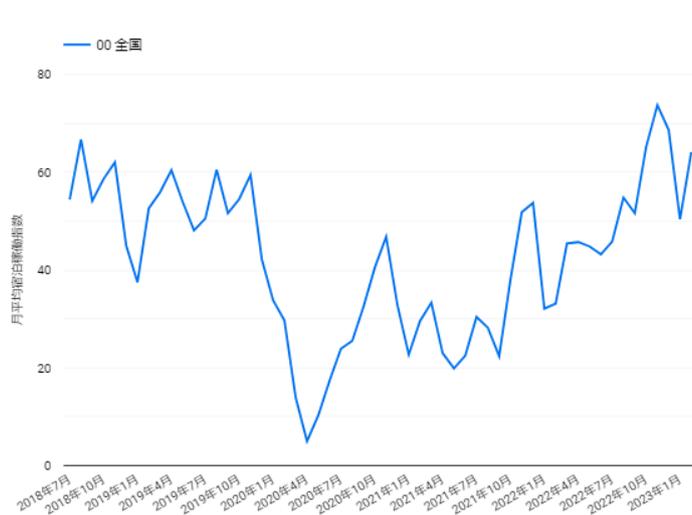
本稿では、当会が宿泊予約サイトより取得したデータをもとに算出している「宿泊稼働指数¹」を活用し、2023年2月における新型コロナウイルス感染拡大による宿泊施設への影響を分析する。

1. 全国の宿泊稼働指数：前年差は過去最大

2023年2月における全国の宿泊稼働指数は64.1で、前月の50.4を上回り、3カ月ぶりに上昇した(図1)。前年差は+31.0ptで、比較可能な2019年7月以降で最大の上昇、また16カ月連続のプラスとなっている。

宿泊稼働指数や観光庁「宿泊旅行統計」の客室稼働率は、例年1月を底にして2月は回復傾向にある。特に今年は、1月が全国旅行支援規模縮小の影響で稼働指数の減少幅が大きく、その反動から2月の上昇幅も大きくなった。新型コロナウイルスの感染収束や感染症法での位置づけの「5類」への移行表明、またインバウンドの堅調な回復により、供給制約はあるものの宿泊動向が正常化へ大きく近づいているとみている。

図1 宿泊稼働指数の推移(全国)



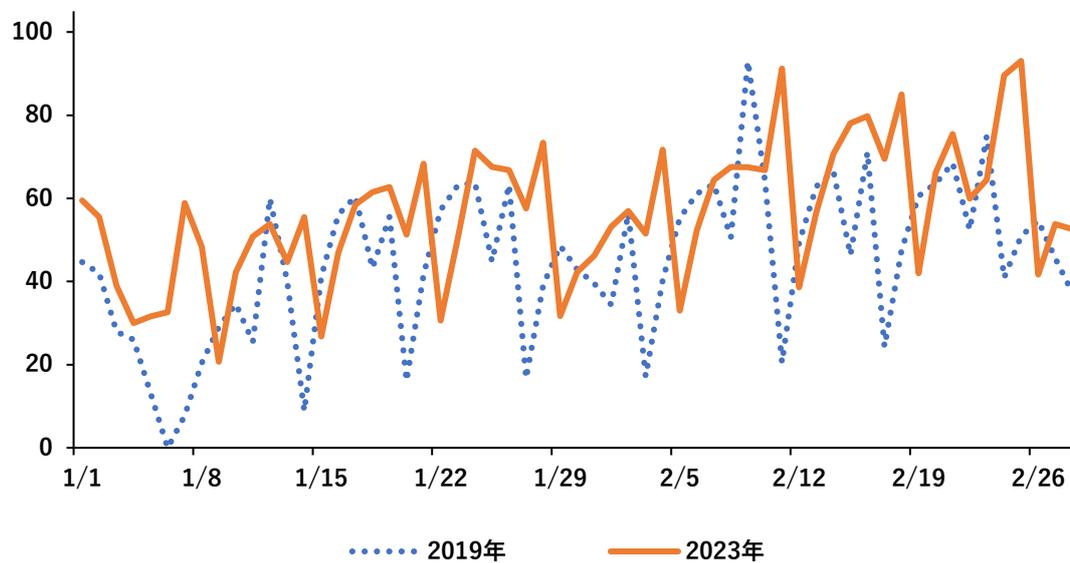
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	00 全国	64.1	31.0
2. 2023年1月	00 全国	50.4	18.3
3. 2022年12月	00 全国	68.6	14.9
4. 2022年11月	00 全国	73.7	21.9
5. 2022年10月	00 全国	65.1	27.1
6. 2022年9月	00 全国	51.6	29.2
7. 2022年8月	00 全国	54.8	26.6
8. 2022年7月	00 全国	45.8	15.4
9. 2022年6月	00 全国	43.2	20.7
10. 2022年5月	00 全国	44.8	24.9
11. 2022年4月	00 全国	45.7	22.7
12. 2022年3月	00 全国	45.4	12.1
13. 2022年2月	00 全国	33.1	3.5
14. 2022年1月	00 全国	32.1	9.4
15. 2021年12月	00 全国	53.7	20.9
16. 2021年11月	00 全国	51.8	5.0

注) 2023年3月7日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

¹ 宿泊稼働指数は日次の空室の水準を指数化したもので、九経調が独自に推計。原数値は0から100の間の数値をとり、稼働状況が良い場合は100に、稼働状況が悪い場合は0に近づく。算出方法は「参考資料」を参照
 なお、足下、従業員不足等の供給制約による稼働率低下が指摘されるなか、本指数が宿泊予約サイトの空室情報を基に算出している関係で、統計上の延べ宿泊者数・施設稼働率よりも上振れしている可能性に留意が必要である

図2は、コロナ禍前の2019年と2023年の1～2月における日別宿泊稼働指数の推移を示している。2023年の2月は2019年と比較して、下旬の稼働指数が高いことが読み取れる。

図2 12～1月の日別宿泊稼働指数の推移（全国）



注) 原数値 2023年3月7日時点の推計値

資料) 九経調 DATASALAD

2. 地域ブロック別の宿泊稼働指数：12 地域全てで前年差・前月差プラス

2023年2月の宿泊稼働指数を12の地域ブロック別にみると、沖縄(76.4)や九州(74.1)、南関東(68.5)、で高い傾向となった(表1)。

前年との比較では、12地域全てでプラスとなり、特に沖縄(前年差+53.3pt)、九州(同+40.3pt)、北海道(同+33.8pt)、でプラス幅が大きい。

前月との比較では、12地域全てで前月を上回り、特に沖縄(前月差+33.3pt)、北海道(同+21.6pt)、九州(同+15.8pt)でプラス幅が大きくなった。九州は2カ月ぶりのプラスである。

表1 地域ブロック別宿泊稼働指数・前年差・前月差

	2022年 2月	2023年 1月	2023年		
			2月	前年差	前月差
全国	33.1	50.4	64.1	31.0	13.7
北海道	28.8	41.0	62.6	33.8	21.6
東北	39.2	48.1	59.0	19.8	10.9
北関東	43.0	59.1	67.3	24.3	8.2
南関東	40.6	55.3	68.5	27.9	13.2
甲信越	30.4	44.2	53.8	23.4	9.6
東海	29.4	46.4	56.4	27.0	10.0
北陸	24.4	27.9	38.4	14.0	10.5
近畿	30.6	45.9	55.0	24.4	9.1
中国	28.2	46.1	58.7	30.5	12.6
四国	27.4	46.4	59.6	32.2	13.2
九州	33.8	58.3	74.1	40.3	15.8
沖縄	23.1	43.1	76.4	53.3	33.3

注) 2023年3月7日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

表2 地域ブロック別宿泊稼働指数

< 指数順 >

年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	CO11 沖縄	76.4	53.3
2. 2023年2月	CO10 九州	74.1	40.3
3. 2023年2月	CO032 南関東	68.5	27.9
4. 2023年2月	CO031 北関東	67.3	24.3
5. 2023年2月	CO01 北海道	62.6	33.8
6. 2023年2月	CO09 四国	59.6	32.2
7. 2023年2月	CO02 東北	59.0	19.8
8. 2023年2月	CO08 中国	58.7	30.5
9. 2023年2月	CO05 東海	56.4	27.0
10. 2023年2月	CO07 近畿	55.0	24.4
11. 2023年2月	CO04 甲信越	53.8	23.4
12. 2023年2月	CO06 北陸	38.4	14.0

< 前年差順 >

年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	CO11 沖縄	76.4	53.3
2. 2023年2月	CO10 九州	74.1	40.3
3. 2023年2月	CO01 北海道	62.6	33.8
4. 2023年2月	CO09 四国	59.6	32.2
5. 2023年2月	CO08 中国	58.7	30.5
6. 2023年2月	CO032 南関東	68.5	27.9
7. 2023年2月	CO05 東海	56.4	27.0
8. 2023年2月	CO07 近畿	55.0	24.4
9. 2023年2月	CO031 北関東	67.3	24.3
10. 2023年2月	CO04 甲信越	53.8	23.4
11. 2023年2月	CO02 東北	59.0	19.8
12. 2023年2月	CO06 北陸	38.4	14.0

注) 2023年3月7日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

3. 都道府県別の宿泊稼働状況： 全都道府県で前年差・前月差プラス

2023年2月の宿泊稼働指数を47都道府県別にみると、宮崎県（84.7）や鹿児島県（79.3）、佐賀県（77.1）などで高水準となった（表3）。

前年差は、47都道府県全てでプラスとなり、沖縄県（前年差+53.3pt）、福岡県（同+46.6pt）、鹿児島県（同+42.3pt）などでプラス幅が大きくなった。

前月との比較でも、47都道府県全てで前月を上回り、特に沖縄県（前月差+33.3pt）や宮崎県（同+26.2pt）、北海道（同+21.6pt）などで上昇幅が大きくなった。宮崎県はWBC日本代表をはじめとしたスポーツキャンプによる観光・宿泊需要によって稼働指数が最も高くなったほか、鹿児島県・沖縄県など温暖な地域で指数や前月差が上位に位置している。

表3 都道府県別宿泊稼働指数・前年差・前月差

	2022年	2023年	2023年				2022年	2023年	2023年		
	2月	1月	2月	前年差	前月差		2月	1月	2月	前年差	前月差
全国	33.1	50.4	64.1	31.0	13.7	三重県	32.8	41.6	51.4	18.6	9.8
北海道	28.8	41.0	62.6	33.8	21.6	滋賀県	42.3	52.4	63.1	20.8	10.7
青森県	35.4	43.7	55.8	20.4	12.1	京都府	12.8	37.4	45.0	32.2	7.6
岩手県	37.4	38.8	45.7	8.3	6.9	大阪府	40.6	55.1	63.7	23.1	8.6
宮城県	35.1	54.9	64.2	29.1	9.3	兵庫県	33.0	43.3	52.6	19.6	9.3
秋田県	52.4	48.7	62.5	10.1	13.8	奈良県	42.6	63.1	74.4	31.8	11.3
山形県	35.1	46.3	62.3	27.2	16.0	和歌山県	31.7	37.5	45.7	14.0	8.2
福島県	40.1	52.9	62.4	22.3	9.5	鳥取県	22.3	41.2	50.9	28.6	9.7
茨城県	44.8	63.2	72.6	27.8	9.4	島根県	35.7	43.7	62.8	27.1	19.1
栃木県	39.9	52.1	59.7	19.8	7.6	岡山県	30.9	46.7	57.2	26.3	10.5
群馬県	48.5	64.1	71.4	22.9	7.3	広島県	21.4	50.8	61.9	40.5	11.1
埼玉県	50.0	62.3	73.5	23.5	11.2	山口県	41.6	55.4	67.1	25.5	11.7
千葉県	42.0	49.4	62.5	20.5	13.1	徳島県	37.4	59.8	72.6	35.2	12.8
東京都	38.3	57.7	69.9	31.6	12.2	香川県	22.3	38.9	53.1	30.8	14.2
神奈川県	38.2	47.1	64.3	26.1	17.2	愛媛県	25.8	41.4	53.9	28.1	12.5
新潟県	27.1	35.7	43.1	16.0	7.4	高知県	44.2	57.5	70.2	26.0	12.7
富山県	29.8	29.1	38.4	8.6	9.3	福岡県	25.3	59.0	71.9	46.6	12.9
石川県	16.1	25.4	37.9	21.8	12.5	佐賀県	51.9	62.2	77.1	25.2	14.9
福井県	46.5	47.3	51.9	5.4	4.6	長崎県	37.4	57.7	73.4	36.0	15.7
山梨県	36.5	52.6	63.6	27.1	11.0	熊本県	33.7	54.1	71.9	38.2	17.8
長野県	30.1	49.1	59.2	29.1	10.1	大分県	46.8	63.5	74.2	27.4	10.7
岐阜県	39.8	45.1	58.2	18.4	13.1	宮崎県	44.4	58.5	84.7	40.3	26.2
静岡県	28.6	50.9	62.7	34.1	11.8	鹿児島県	37.0	62.7	79.3	42.3	16.6
愛知県	27.1	45.8	53.2	26.1	7.4	沖縄県	23.1	43.1	76.4	53.3	33.3

注) 2023年3月7日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

表4 都道府県別宿泊稼働指数ランキング

< 指数順・上位 >

	年月	地域	指数 ↓	前年差
1.	2023年2月	45 宮崎県	84.7	40.3
2.	2023年2月	46 鹿児島県	79.3	42.3
3.	2023年2月	41 佐賀県	77.1	25.2
4.	2023年2月	47 沖縄県	76.4	53.3
5.	2023年2月	29 奈良県	74.4	31.8
6.	2023年2月	44 大分県	74.2	27.4
7.	2023年2月	11 埼玉県	73.5	23.5
8.	2023年2月	42 長崎県	73.4	36.0
9.	2023年2月	08 茨城県	72.6	27.8
10.	2023年2月	36 徳島県	72.6	35.2
11.	2023年2月	40 福岡県	71.9	46.6
12.	2023年2月	43 熊本県	71.9	38.2
13.	2023年2月	10 群馬県	71.4	22.9
14.	2023年2月	39 高知県	70.2	26.0
15.	2023年2月	13 東京都	69.9	31.5
16.	2023年2月	35 山口県	67.1	25.5

< 前年差順・上位 >

	年月	地域	指数	前年差 ↓
1.	2023年2月	47 沖縄県	76.4	53.3
2.	2023年2月	40 福岡県	71.9	46.6
3.	2023年2月	46 鹿児島県	79.3	42.3
4.	2023年2月	34 広島県	61.9	40.5
5.	2023年2月	45 宮崎県	84.7	40.3
6.	2023年2月	43 熊本県	71.9	38.2
7.	2023年2月	42 長崎県	73.4	36.0
8.	2023年2月	36 徳島県	72.6	35.2
9.	2023年2月	22 静岡県	62.7	34.1
10.	2023年2月	01 北海道	62.6	33.8
11.	2023年2月	26 京都府	45.0	32.2
12.	2023年2月	29 奈良県	74.4	31.8
13.	2023年2月	13 東京都	69.9	31.5
14.	2023年2月	37 香川県	53.1	30.8
15.	2023年2月	20 長野県	59.2	29.1
16.	2023年2月	04 宮城県	64.2	29.1

< 指数順・下位 >

	年月	地域	指数 ↑	前年差
1.	2023年2月	17 石川県	37.9	21.8
2.	2023年2月	16 富山県	38.4	8.6
3.	2023年2月	15 新潟県	43.1	16.0
4.	2023年2月	26 京都府	45.0	32.2
5.	2023年2月	30 和歌山県	45.7	14.0
6.	2023年2月	03 岩手県	45.7	8.3
7.	2023年2月	31 鳥取県	50.9	28.6
8.	2023年2月	24 三重県	51.4	18.6
9.	2023年2月	18 福井県	51.9	5.4
10.	2023年2月	28 兵庫県	52.6	19.6
11.	2023年2月	37 香川県	53.1	30.8
12.	2023年2月	23 愛知県	53.2	26.1
13.	2023年2月	38 愛媛県	53.9	28.1
14.	2023年2月	02 青森県	55.8	20.4
15.	2023年2月	33 岡山県	57.2	26.3
16.	2023年2月	21 岐阜県	58.2	18.4

< 前年差順・下位 >

	年月	地域	指数	前年差 ↑
1.	2023年2月	18 福井県	51.9	5.4
2.	2023年2月	03 岩手県	45.7	8.3
3.	2023年2月	16 富山県	38.4	8.6
4.	2023年2月	05 秋田県	62.5	10.1
5.	2023年2月	30 和歌山県	45.7	14.0
6.	2023年2月	15 新潟県	43.1	16.0
7.	2023年2月	21 岐阜県	58.2	18.4
8.	2023年2月	24 三重県	51.4	18.6
9.	2023年2月	28 兵庫県	52.6	19.6
10.	2023年2月	09 栃木県	59.7	19.8
11.	2023年2月	02 青森県	55.8	20.4
12.	2023年2月	12 千葉県	62.5	20.5
13.	2023年2月	25 滋賀県	63.1	20.8
14.	2023年2月	17 石川県	37.9	21.8
15.	2023年2月	07 福島県	62.4	22.3
16.	2023年2月	10 群馬県	71.4	22.9

注) 2023年3月7日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

4. 西九州新幹線開業の影響： 季節要因・全国旅行支援縮小で下落も健闘

2022年9月23日に西九州新幹線の武雄温泉・長崎間が開業となったが、沿線・周辺市町村等の宿泊稼働指数を確認すると、2月は、全国に合わせる形で指数が回復している。とりわけ武雄市・嬉野市・大村市は月間の宿泊稼働指数が90以上、もしくは90に迫る値を示しており、好調を継続していることがうかがえる。

表5 西九州新幹線沿線・周辺市町村等の宿泊稼働指数

	2019年	2022年	2023年	2023年		
	2月	12月	1月	2月	1～14日	15～28日
全国	52.6	68.6	50.4	64.1	60.2	68.0
武雄市	73.4	96.6	85.3	94.1	93.6	94.7
嬉野市	68.0	95.8	81.3	89.6	84.7	94.4
大村市	75.6	89.9	79.6	92.5	92.7	92.3
諫早市	68.3	87.7	74.8	84.0	86.6	81.4
長崎市	70.2	78.6	55.4	74.1	73.0	75.2
福岡市	72.7	77.3	62.2	75.5	72.4	78.7
佐賀市	59.0	76.0	59.4	74.1	73.5	74.8
佐世保市	59.4	84.9	69.9	83.0	81.2	84.8
雲仙市	40.6	68.1	36.0	48.6	41.5	55.8
島原市	69.6	85.4	70.9	76.9	75.2	78.6

注) 曜日要因による変動を取り除いた値の期間平均、2023年3月7日時点の推計値

資料) 九経調 DATASALAD

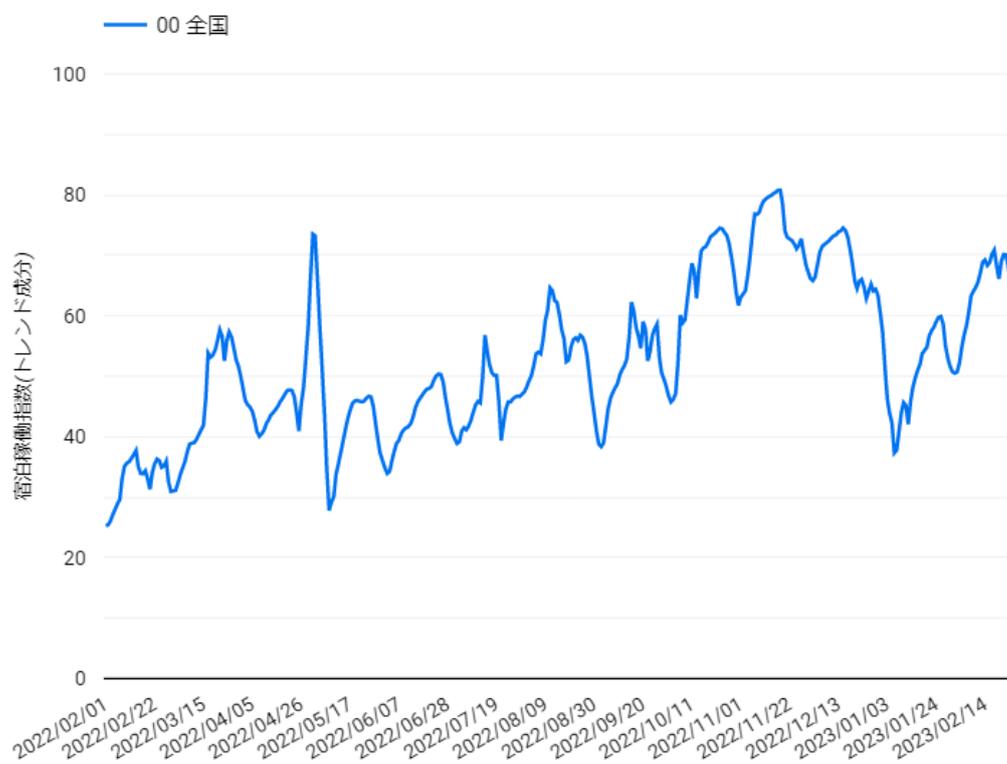
渡辺 隼矢 (事業開発部 研究員)

E-mail: jwatanabe@kerc.or.jp

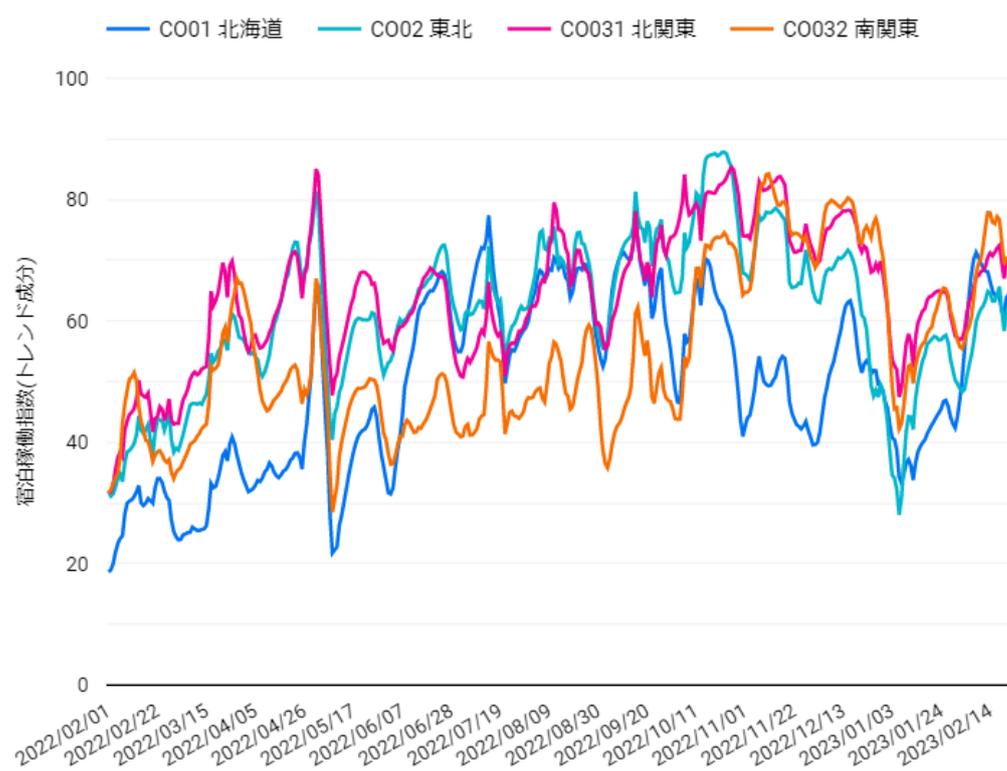
5. 参考：日次推移

図3 全国・地域ブロック別の日次推移（トレンド成分）

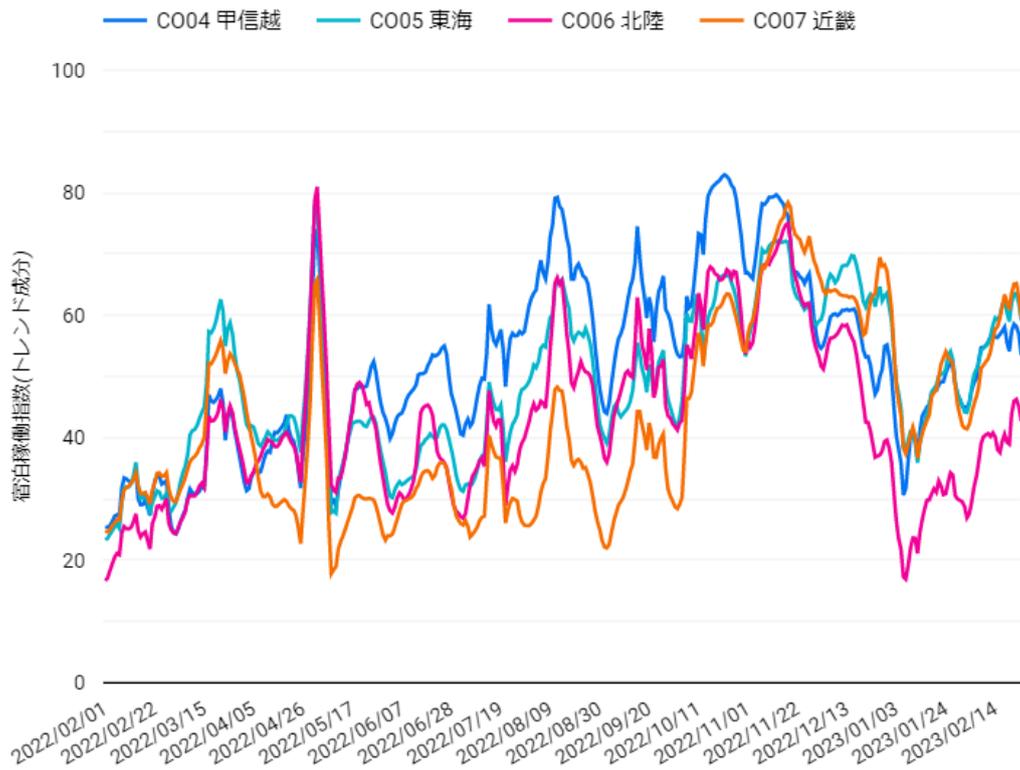
<全国>



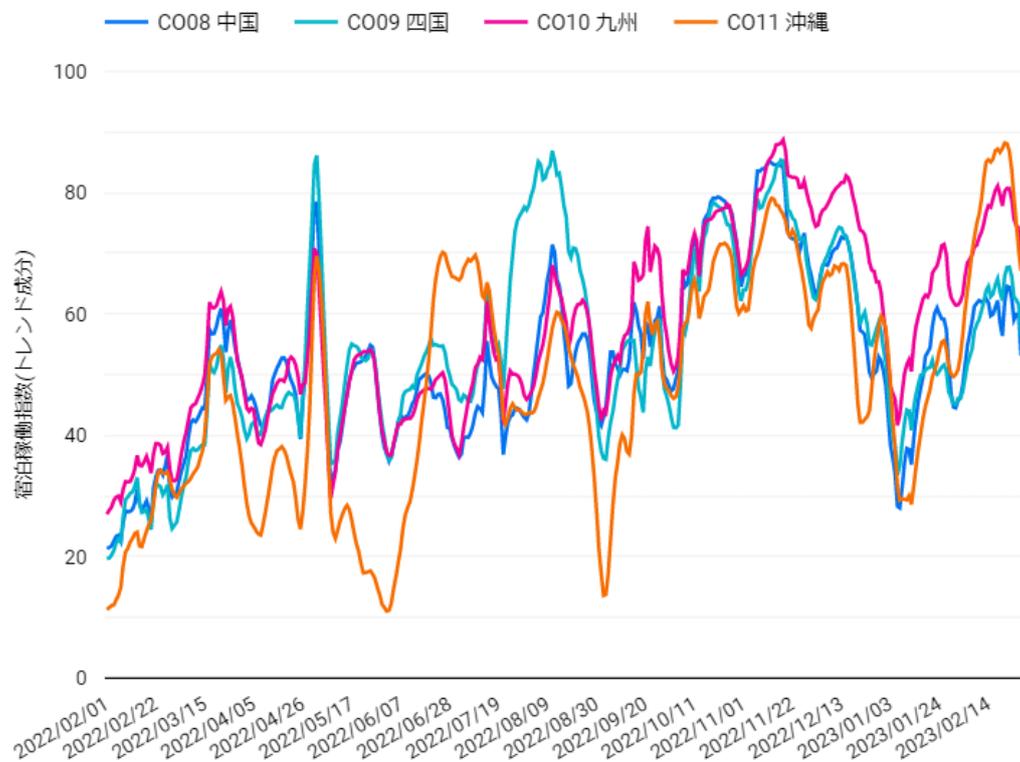
<北海道～南関東>



< 甲信越～近畿 >



< 中国～沖縄 >



注) 2023年3月7日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

参考資料

1. 宿泊稼働指数の算出方法

■日次（原数値）

$$100 - \left(\frac{\text{当日の空室数} - \text{当日を含む過去 730 日の最小空室数}}{\text{当日を含む過去 730 日の最大空室数} - \text{当日を含む過去 730 日の最小空室数}} \right) * 100$$

※当該地域において、宿泊施設が過去 365 日以上連続して立地・稼働していると判定される場合に限り算出

※空室情報の取得開始時期が 2017 年 7 月であるため、2018 年 7 月～2019 年 6 月については過去 365 日以上 730 日未満の最大・最小空室数より算出している

■日次（トレンド成分）

「日次（原数値）」を 7 日間周期のデータとみなして要因分解し、曜日要因・イベント要因（イベント・その他の特殊要因）を除いたもの

※「日次（原数値）」を 28 日分以上連続して算出可能に限り算出

■日次（トレンド+イベント成分）

「日次（原数値）」を 7 日間周期のデータとみなして要因分解し、曜日要因を除いたもの

※「日次（原数値）」を 28 日分以上連続して算出可能に限り算出

■月平均指数

「日次（トレンド+イベント成分）」を月ごとに単純平均したもの

※ある日のある地域において空室データが存在しない場合は、当日を含む前 14 日間かつ当日を含む後 14 日間において平均空室数が 0 より大きければ、当該地域において宿泊施設が連続して立地・稼働していると判定

※空室データの取得ができなかった日については、当日を含まない前 4 週間の同曜日の平均値により補間した上で要因分解を行っている

2. 緊急事態宣言発令に伴う対応

■休業施設を除いた特別集計

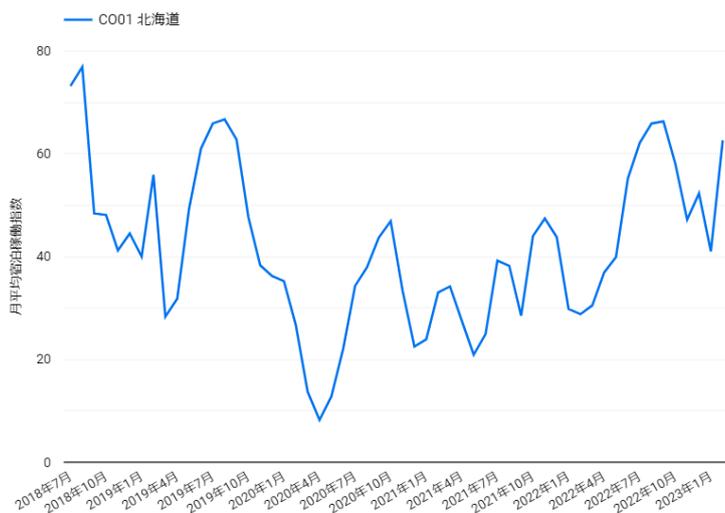
2020 年 4～5 月における緊急事態宣言の発令に伴い宿泊施設の休業がみられた。その影響がある 2020 年 4～6 月の宿泊稼働指数は、休業した宿泊施設を除くための処理を行って算出した。具体的には、2020 年 4 月に 20 日以上かつ 2020 年 5 月に 20 日以上空室が提供されている施設のみを対象に指数を算出した

■特別集計との接続

2021 年 4 月以降に発表している宿泊稼働指数は、全サンプルによる集計（2018 年 7 月～2020 年 3 月および 2020 年 7 月～）と上述の特別集計（2020 年 4 月～2020 年 6 月）を接続したものである。原数値を接続した上で、曜日調整をおこなっている

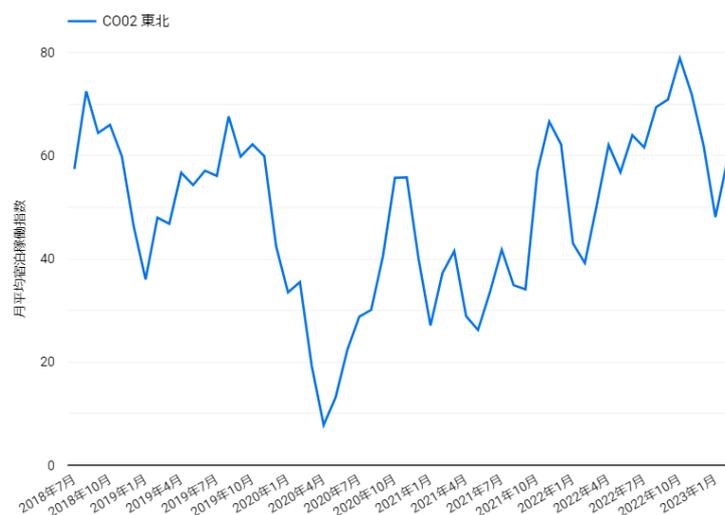
3. 地域ブロック別宿泊稼働指数の推移

<北海道>



年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	CO01 北海道	62.6	33.8
2. 2023年1月	CO01 北海道	41.0	11.2
3. 2022年12月	CO01 北海道	52.3	8.5
4. 2022年11月	CO01 北海道	47.2	-0.2
5. 2022年10月	CO01 北海道	58.1	14.1
6. 2022年9月	CO01 北海道	66.3	37.8
7. 2022年8月	CO01 北海道	65.9	27.7
8. 2022年7月	CO01 北海道	62.1	22.9
9. 2022年6月	CO01 北海道	55.2	30.3
10. 2022年5月	CO01 北海道	39.9	19.0
11. 2022年4月	CO01 北海道	36.9	9.4
12. 2022年3月	CO01 北海道	30.5	-3.7
13. 2022年2月	CO01 北海道	28.8	-4.2
14. 2022年1月	CO01 北海道	29.8	5.9
15. 2021年12月	CO01 北海道	43.8	21.3
16. 2021年11月	CO01 北海道	47.4	14.0

<東北>



年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	CO02 東北	59.0	19.8
2. 2023年1月	CO02 東北	48.1	5.1
3. 2022年12月	CO02 東北	62.0	-0.2
4. 2022年11月	CO02 東北	71.9	5.3
5. 2022年10月	CO02 東北	78.9	22.0
6. 2022年9月	CO02 東北	70.9	36.8
7. 2022年8月	CO02 東北	69.4	34.5
8. 2022年7月	CO02 東北	61.6	19.8
9. 2022年6月	CO02 東北	64.0	30.5
10. 2022年5月	CO02 東北	56.8	30.6
11. 2022年4月	CO02 東北	62.1	33.2
12. 2022年3月	CO02 東北	50.4	8.9
13. 2022年2月	CO02 東北	39.2	2.0
14. 2022年1月	CO02 東北	43.0	15.9
15. 2021年12月	CO02 東北	62.2	22.3
16. 2021年11月	CO02 東北	66.6	10.8

<北関東>



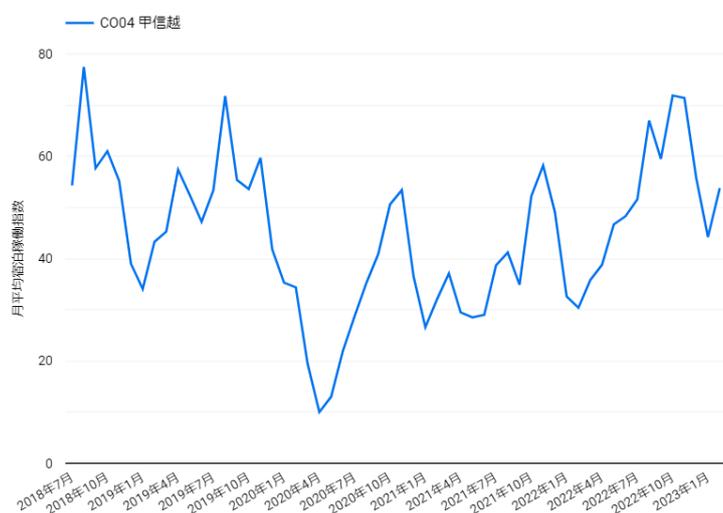
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	CO031 北関東	67.3	24.3
2. 2023年1月	CO031 北関東	59.1	17.7
3. 2022年12月	CO031 北関東	73.0	9.9
4. 2022年11月	CO031 北関東	77.2	13.6
5. 2022年10月	CO031 北関東	80.4	33.8
6. 2022年9月	CO031 北関東	67.5	42.5
7. 2022年8月	CO031 北関東	68.3	39.5
8. 2022年7月	CO031 北関東	56.6	27.9
9. 2022年6月	CO031 北関東	62.4	40.2
10. 2022年5月	CO031 北関東	63.2	38.9
11. 2022年4月	CO031 北関東	63.5	32.8
12. 2022年3月	CO031 北関東	56.7	21.2
13. 2022年2月	CO031 北関東	43.0	11.3
14. 2022年1月	CO031 北関東	41.4	13.6
15. 2021年12月	CO031 北関東	63.1	22.7
16. 2021年11月	CO031 北関東	63.6	8.1

< 南関東 >



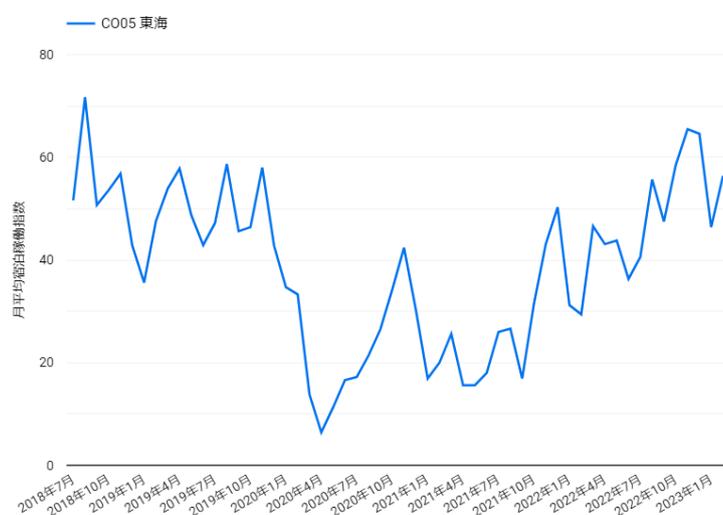
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	C0032 南関東	68.5	27.9
2. 2023年1月	C0032 南関東	55.3	22.9
3. 2022年12月	C0032 南関東	76.4	21.8
4. 2022年11月	C0032 南関東	75.4	37.6
5. 2022年10月	C0032 南関東	64.9	39.1
6. 2022年9月	C0032 南関東	47.8	30.0
7. 2022年8月	C0032 南関東	51.6	25.3
8. 2022年7月	C0032 南関東	46.1	17.3
9. 2022年6月	C0032 南関東	43.3	25.3
10. 2022年5月	C0032 南関東	46.6	31.4
11. 2022年4月	C0032 南関東	50.6	32.1
12. 2022年3月	C0032 南関東	49.0	22.3
13. 2022年2月	C0032 南関東	40.6	14.1
14. 2022年1月	C0032 南関東	32.4	13.4
15. 2021年12月	C0032 南関東	54.6	25.9
16. 2021年11月	C0032 南関東	37.8	1.7

< 甲信越 >



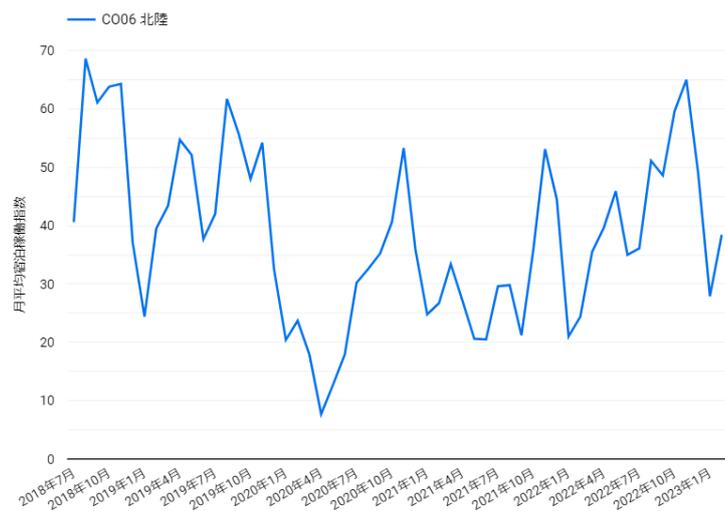
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	C004 甲信越	53.8	23.4
2. 2023年1月	C004 甲信越	44.2	11.6
3. 2022年12月	C004 甲信越	55.8	6.7
4. 2022年11月	C004 甲信越	71.4	13.2
5. 2022年10月	C004 甲信越	71.9	19.7
6. 2022年9月	C004 甲信越	59.5	24.6
7. 2022年8月	C004 甲信越	67.0	25.8
8. 2022年7月	C004 甲信越	51.6	12.9
9. 2022年6月	C004 甲信越	48.3	19.3
10. 2022年5月	C004 甲信越	46.7	18.2
11. 2022年4月	C004 甲信越	38.8	9.3
12. 2022年3月	C004 甲信越	35.8	-1.3
13. 2022年2月	C004 甲信越	30.4	-1.7
14. 2022年1月	C004 甲信越	32.6	6.0
15. 2021年12月	C004 甲信越	49.1	12.6
16. 2021年11月	C004 甲信越	58.2	4.8

< 東海 >



年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	C005 東海	56.4	27.0
2. 2023年1月	C005 東海	46.4	15.2
3. 2022年12月	C005 東海	64.6	14.3
4. 2022年11月	C005 東海	65.5	22.4
5. 2022年10月	C005 東海	58.5	27.0
6. 2022年9月	C005 東海	47.5	30.6
7. 2022年8月	C005 東海	55.7	29.1
8. 2022年7月	C005 東海	40.6	14.6
9. 2022年6月	C005 東海	36.3	18.3
10. 2022年5月	C005 東海	43.8	28.2
11. 2022年4月	C005 東海	43.1	27.5
12. 2022年3月	C005 東海	46.6	21.0
13. 2022年2月	C005 東海	29.4	9.4
14. 2022年1月	C005 東海	31.2	14.3
15. 2021年12月	C005 東海	50.3	20.0
16. 2021年11月	C005 東海	43.1	0.7

<北陸>



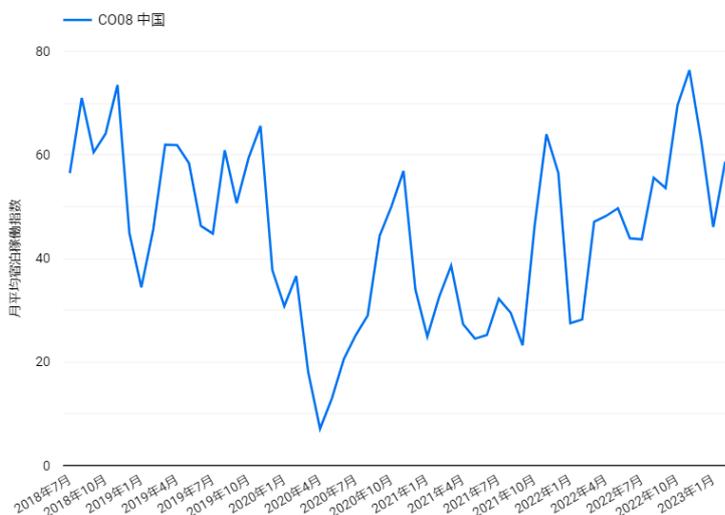
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	C006 北陸	38.4	14.0
2. 2023年1月	C006 北陸	27.9	6.9
3. 2022年12月	C006 北陸	49.0	4.5
4. 2022年11月	C006 北陸	65.0	11.9
5. 2022年10月	C006 北陸	59.6	23.9
6. 2022年9月	C006 北陸	48.6	27.4
7. 2022年8月	C006 北陸	51.1	21.3
8. 2022年7月	C006 北陸	36.1	6.5
9. 2022年6月	C006 北陸	35.0	14.5
10. 2022年5月	C006 北陸	45.9	25.3
11. 2022年4月	C006 北陸	39.7	12.6
12. 2022年3月	C006 北陸	35.5	2.1
13. 2022年2月	C006 北陸	24.4	-2.3
14. 2022年1月	C006 北陸	21.0	-3.8
15. 2021年12月	C006 北陸	44.5	8.6
16. 2021年11月	C006 北陸	53.1	-0.2

<近畿>



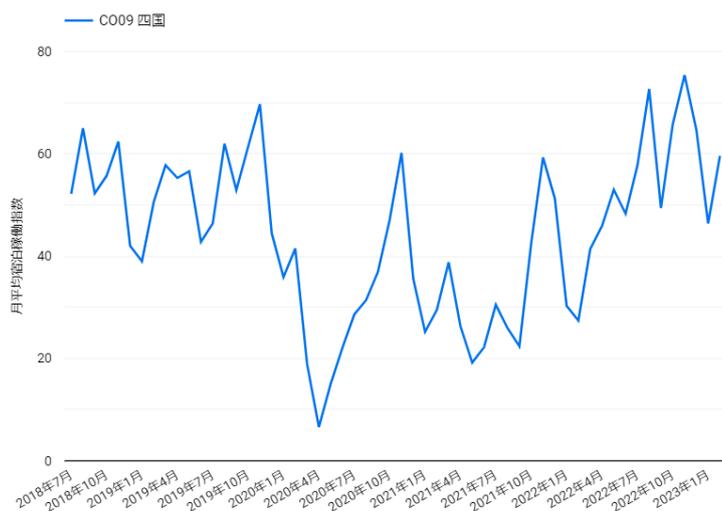
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	C007 近畿	55.0	24.4
2. 2023年1月	C007 近畿	45.9	15.7
3. 2022年12月	C007 近畿	63.5	16.0
4. 2022年11月	C007 近畿	70.2	25.5
5. 2022年10月	C007 近畿	52.5	22.0
6. 2022年9月	C007 近畿	34.2	10.9
7. 2022年8月	C007 近畿	35.5	11.2
8. 2022年7月	C007 近畿	29.5	6.0
9. 2022年6月	C007 近畿	30.8	5.5
10. 2022年5月	C007 近畿	32.1	9.3
11. 2022年4月	C007 近畿	33.1	13.7
12. 2022年3月	C007 近畿	43.4	11.1
13. 2022年2月	C007 近畿	30.6	-1.4
14. 2022年1月	C007 近畿	30.2	5.7
15. 2021年12月	C007 近畿	47.5	18.8
16. 2021年11月	C007 近畿	44.7	2.1

<中国>



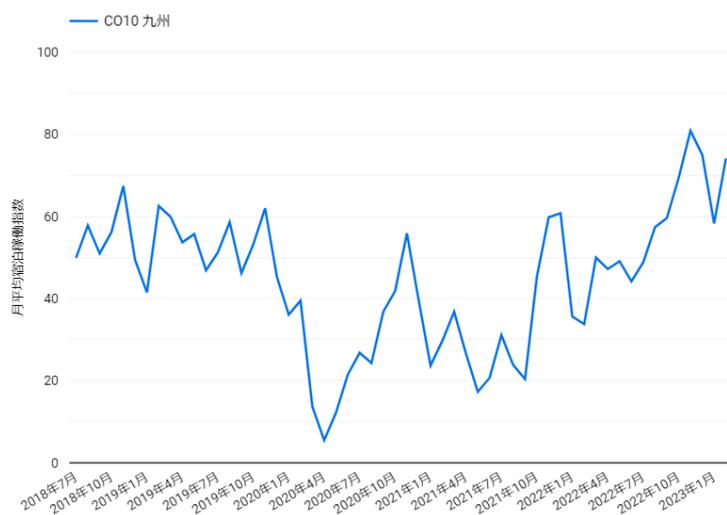
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	C008 中国	58.7	30.5
2. 2023年1月	C008 中国	46.1	18.6
3. 2022年12月	C008 中国	62.6	6.1
4. 2022年11月	C008 中国	76.4	12.4
5. 2022年10月	C008 中国	69.6	23.4
6. 2022年9月	C008 中国	53.6	30.4
7. 2022年8月	C008 中国	55.6	26.1
8. 2022年7月	C008 中国	43.7	11.5
9. 2022年6月	C008 中国	43.9	18.7
10. 2022年5月	C008 中国	49.7	25.2
11. 2022年4月	C008 中国	48.2	20.9
12. 2022年3月	C008 中国	47.1	8.5
13. 2022年2月	C008 中国	28.2	-4.4
14. 2022年1月	C008 中国	27.5	2.6
15. 2021年12月	C008 中国	56.5	22.5
16. 2021年11月	C008 中国	64.0	7.1

< 四国 >



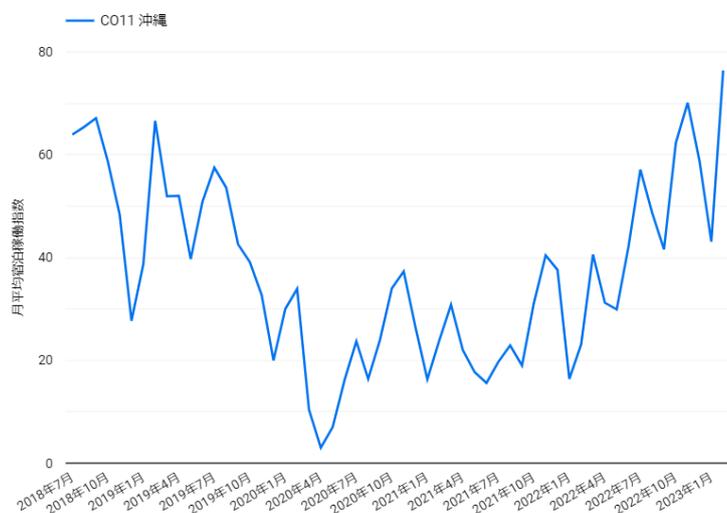
年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	CO09 四国	59.6	32.2
2. 2023年1月	CO09 四国	46.4	16.1
3. 2022年12月	CO09 四国	64.7	13.4
4. 2022年11月	CO09 四国	75.4	16.1
5. 2022年10月	CO09 四国	65.8	23.3
6. 2022年9月	CO09 四国	49.4	27.0
7. 2022年8月	CO09 四国	72.7	46.8
8. 2022年7月	CO09 四国	57.7	27.2
9. 2022年6月	CO09 四国	48.3	26.1
10. 2022年5月	CO09 四国	53.0	33.8
11. 2022年4月	CO09 四国	45.9	19.6
12. 2022年3月	CO09 四国	41.4	2.6
13. 2022年2月	CO09 四国	27.4	-2.1
14. 2022年1月	CO09 四国	30.3	5.1
15. 2021年12月	CO09 四国	51.3	15.7
16. 2021年11月	CO09 四国	59.3	-0.9

< 九州 >



年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	CO10 九州	74.1	40.3
2. 2023年1月	CO10 九州	58.3	22.7
3. 2022年12月	CO10 九州	75.0	14.2
4. 2022年11月	CO10 九州	80.9	21.1
5. 2022年10月	CO10 九州	69.4	24.1
6. 2022年9月	CO10 九州	59.6	39.2
7. 2022年8月	CO10 九州	57.4	33.6
8. 2022年7月	CO10 九州	48.8	17.7
9. 2022年6月	CO10 九州	44.2	23.5
10. 2022年5月	CO10 九州	49.1	31.8
11. 2022年4月	CO10 九州	47.2	20.6
12. 2022年3月	CO10 九州	50.0	13.2
13. 2022年2月	CO10 九州	33.8	4.1
14. 2022年1月	CO10 九州	35.6	11.9
15. 2021年12月	CO10 九州	60.8	21.2
16. 2021年11月	CO10 九州	59.8	3.9

< 沖縄 >



年月	地域	指数	前年差
1. 2023年2月	CO11 沖縄	76.4	53.3
2. 2023年1月	CO11 沖縄	43.1	26.7
3. 2022年12月	CO11 沖縄	58.8	21.2
4. 2022年11月	CO11 沖縄	70.1	29.7
5. 2022年10月	CO11 沖縄	62.3	31.2
6. 2022年9月	CO11 沖縄	41.6	22.6
7. 2022年8月	CO11 沖縄	48.7	25.8
8. 2022年7月	CO11 沖縄	57.1	37.4
9. 2022年6月	CO11 沖縄	42.1	26.5
10. 2022年5月	CO11 沖縄	29.9	12.2
11. 2022年4月	CO11 沖縄	31.2	9.2
12. 2022年3月	CO11 沖縄	40.6	9.8
13. 2022年2月	CO11 沖縄	23.1	-0.7
14. 2022年1月	CO11 沖縄	16.4	0.1
15. 2021年12月	CO11 沖縄	37.6	11.2
16. 2021年11月	CO11 沖縄	40.4	3.1